

タウンミーティング（神拝地区） 開催報告

- 日 時 令和元年 7 月 2 日（火） 午後 7 時から
- 場 所 神拝公民館 2 階ホール
- 参加者 神拝連合自治会長、都町自治会長、喜多川中自治会長、新町自治会長、川沿町自治会長、社会福祉協議会神拝支部支部長兼神拝民生児童委員会協議会会長、神拝婦人会会長、神友会会長、防犯協会神拝支部支部長、神拝地区青少年健全育成協議会会長、人権教育をすすめる会会長、神拝小学校 PTA 副会長
市長 経営戦略部長、市民生活部長、市民協働推進課長、シティプロモーション推進課長、政策企画係長
- 傍聴者 22 人
- 次第
 - 1 開会
 - 2 挨拶（神拝地区連合自治会長）
 - 3 挨拶（市長）
 - 4 市の主要事業について《市提案》
 - (1) 主要事業の説明（市長）
 - 5 参加者自己紹介
 - 6 地域課題①「これからの地域づくり」について《市提案》
 - (1) 課題等の経過等内容説明（市民協働推進課長）
 - (2) 意見交換
 - 7 地域課題②「神拝のシビックプライド」について《地域提案》
 - (1) 地域からの提案説明
 - (2) 意見交換
 - 8 その他
 - 9 まとめ・閉会
 - (1) まとめ（市長）
 - (2) 挨拶（神拝校区連合自治会長）

○会議録

1 挨拶

【神拝地区連合自治会長】

皆さん、こんばんは。今回のタウンミーティングは西条市連合自治会と市が主体となり地域が主導して開催するもので、市長に地元へ来ていただき、市の現状や今後の市政方針の決定に加え、地域住民と市と一緒に校区の課題について話し合いをし、私たちの声を生かし愛着を持てる地域づくりを行うことを目的としている。今日は、これからの地域づくりと神拝のシビックプライドについて話し合いをする。初めての市長を交えての地域づくりについての話し合いである。円滑に進めていくためご協力よろしくお願ひしたい。

【市長】

皆さん、こんばんは。本日は、出席しにくい時間の中、神拝の地域を代表する皆様に集まっていたこと感謝申し上げます。6 月 22 日に禎瑞で行ったのを皮切りに月に数回行っている。市長に就任して 2 年半が経過した。政策の一丁目一番地である「市民主役の西条」を実現していかなければ、自分たちの子ども、孫たちの代に引き継ぐ持続可能なまちづくりができない。

現在、財源が非常に厳しくなっている。平成 16 年の合併時、安く、いい方へ政策を転じたことへのダメージを受けている。また、公共施設の老朽化が激しくなっている。そこで、どうあるべきかを考えなければならない。事業の展開の仕方もあるから、あれかこれかへ。また、小負担高福祉から中負担中福祉になっていかなければならない。市も丁寧な説明をしていきたい。

手探り状態でこれがベストだとは思っていないがよりよく変えていきたい。限られた時間、メンバーではあるが、よろしくお願ひする。

2 市の主要事業について

(1) 主要事業の説明
【市長】(参照別紙資料(1))

3 地域課題①「これからの地域づくり」について

(1) 課題等の経緯等内容説明
【市民協働推進課長】(参照別紙資料(2))

(2) 意見交換

【参加者】

自治会組織率が50パーセントを切っているという話をよく聞く。そうすると約半分の人が参加できていないのではないかと。参加できていない人にはどういったアクションをとっていくのか。組織率が低いからうまくいっていないという話をした。

【市民協働推進課】

大町が取組を始めたのは、自治会未加入者が増え、不安を覚えたのがきっかけだった。地域自治組織の枠組みを使い、PTAや保育園、幼稚園、小学校、中学校など様々な方が参加を表明している。地域活動を一緒にすることを通して自治会の活動について関心を持ってもらい、自治会未加入者も地域活動を一緒にすることによって自治会に目を向けてもらえるように取組んでいる。

大町では、7月26日に地域自治組織の設立総会を行い、地域自治組織の枠組みを使いどういったことができるかを検討して、来年度から本格的に稼働していく。

【市長】

自治会費について、会費という概念ではなく地域への参加料といったような形になって欲しい。地域に参画することによって、費用を負担するのは受益者であるという感覚が芽生えてもいいのではないかと。そうなれば、自治会費という名前ではなく、地域の一員としての活動費という形の発想になってくる。そうすれば、自治会に入らなかったらゴミ出しをさせないという話もなくなってくるのではないかと。しかし、マンションが多い地区でもあるので、希薄化という問題をどうにかしないといけない。自治会の加入率は改善をしていきたい。

【参加者】

神拝校区で2年前から自治会単位で運動会をするようになり、すごく楽しかった。自治会に入りたいが入りにくい地区もある。自治会費については、お祭りのだんじりや、神輿の単位自治会と直結してしまい、お祭りに参加しなくてもお祭りに寄付をしていると感じている人もいる。また、出入りが激しい地区なので自治会に入ってもらいにくい。運動会に参加したいが自治会に入っていないので参加できない方が結構いたので、自治会に入っていないなくても校区の行事に参加できるようにして欲しい。

【市長】

お祭りへの寄付をしなければならぬから自治会に入らないという声は多い。自治会費という概念を破っていかないといけない。自治会費という形ではなく、この地域をどうしていくのかという費用に近い将来になっていけばいい。

4 地域課題②「神拝のシビックプライド」について

【参加者】

地域の間人関係が希薄になってきており、地域行事への参加が少ないなど地域のコミュニケーションの課題がある。アンケートなどによると西条市が好きという回答が多く、シビックプライドが高い自治体である。市民のまちへの愛着や誇りを醸成し、住んでみたい・住んでよかったと思われるまちづくりを実現するための施策を推進していると聞くがあまり浸透していないように感じる。人間関係の希薄さが地域の団体として大きな問題となってきたが、改善するためにシビックプライドの醸成が必要ではないか。地域住民にできることはないか。シビックプライドの醸成を一つの目標として掲げていきたい。

【シティプロモーション推進課長】(参照別紙資料(3))

【市長】

神拝の皆さんが思っている地域に対する愛着や誇りを話していただきたい。

【参加者】

イメージが浮かびにくい。神拝は一つではない。しかし、川の環境整備やアクアトピアの掃除などを神拝のみんなで行えば、一つになっていくのではないかと。

昔の神拝は何でもあり、田舎は助け合えないと生活ができないところもあったが、神拝の辺りは、生活ができていた。しかし、現在は変わってきている。変化に気づかないと災害の時大変なことになる。そういったことで、運動会のような取り組みをすることにより次の世代に繋げていかなければならない。

【参加者】

川の清掃ではお世話になった。5月19日、新町川流域で神拝校区連合自治会が主体となり第一回の神拝校区一斉清掃の参加を呼び掛けた。市役所で聞いた数字では、610名の参加者がいた。来年からはこの取り組みをもっと盛り上げていきたい。

【司会】

干潟やアクアトピアの清流は神拝の宝物である。みんなが交流できる仕組みを作っていたきたい。

【市長】

そういった取り組みが大事である。例えば、運動会を始めた時は、子どもたちや地域住民意識に希薄があるのでみんなで心をつなげようといった話があったと思う。取組のリードを今までは市役所に任せていたと思うが皆さんで話し合いをしていく横の連携が地域を活性化していくには重要である。

【参加者】

神拝の魅力は、人の出入りが多いまちであり、様々な人々の意見が入ってくるので勉強ができる場所である。また、銀行やスーパーなどがそろっており、お年寄りにも優しく住みやすいまちである。しかし、いろいろな人が入ってくるので少し排他的なところもある。そういった人をうまく取り込めたらますます良い地区になってくる。

【参加者】

川がきれいになったのは水サミットがある前の年だけであった。何回も清掃していただけないかと市に提案しても協力してくれなかった。

平成29年にあった「民生委員制度創設100周年記念全国民生委員児童委員大会」で厚生労働省の局長が福祉に関する枠を取っ払い地域共生社会を作ることが出来るように4、5年のうちに法律を変えると話していた。去年あたりから動き出しており、社会福祉協議会や、市がやっている研修会等に参加した。

民生委員が何をやっているかをみなさん知らない。市の若い職員にも知らない人がいた。

民生委員は厚生労働大臣に委嘱されているので、自治会に入っていようがなかろうが神拝地区に住んでいる人全員を見ないといけない。しかし、民生委員が回っていても「あんたらなんぞね。」と言われる。また、自治会に入っていない独居老人を訪ねていくと隣や、その隣の家若くは若い人がいるが協力はしてもらえない。それが現実である。

【司会】

夢を作ろうとすることからいいまちができていい人が集まってくるのではないかと。

【市長】

今、活動されている方の背中を見て育っていく若者がいないといけない。そうしないと、担い手の固定化、高齢化につながってしまう。今後のために育っていく手法を考えていかなければならない。

会費の話については現実としてしっかり受け止めていく。広がりこれから作っていくという気持ちを持たなければならない。持たなければ、チャレンジができない。地域の皆さんの理解と市役所との共同が大切。すべてを皆さんに任すわけではなく、市役所も横の連携を図ることや、突き放したりしないようにしていきたいので信頼して欲しい。

【参加者】

何か変えなければと思い2年前、西条市社会福祉協議会の副会長が3人も必要なのかと提案した。その当時は、2名でいいと言っていたが、今年の6月にあった会で選ばれた副会長は3名だった。今の時代にあった制度に変えていかなければいけないと思い提案しているが変えていくのは難しい。

【市長】

橋では、役職が多いので整理をして省力化できないか検討している。時代の流れとともに

ニーズが変わっていくので対応を変えていく必要がある。ルールも見直していかないとけない。現在、大町も検討している。

【参加者】

神拝の各種団体の長が経験を踏まえたアイデアを発信・共有していかなければならない。組織の長の高齢化も進んでいるので次の世代にも教えていただきたい。市長が色々なことにチャレンジしているので同じ世代の人間としては、勇気をもらおう。神拝の住民として何を考えていかなければいけないかを協議できるように西条市にも知恵や情報の提供などをしてもらい協力していただきたい。

【市長】

橘では自分たちの活動を自分たちで情報発信している。少し前に地域の方 157 名で自分たちのいいところや課題を話し合い、課題解決を目指した。そして話し合った内容をまた地域の皆さんに発信していくといった取り組みを行っている。橘は、コンパクトだからできたと思うかもしれないが、若い人たちがリーダーをして、先輩方のアイデアをもらいながら話し合いをしている。話し合いがベースだと思うので、神拝も話し合いから始めていって欲しい。

【司会】

先ほど「していただきたい」という言葉を「していきたい」に訂正されたがそういった心掛けが大切である。待つのではなく、自ら参加し進めていくことが必要である。いろいろな意見をいただいたが神拝への思いは皆さん同じであると感じた。神拝を西条で一番の地域にしたいということを追いつけていかなければならない。神拝はそれができる地域だと思っている。こういった会ができる機会を自治会長などに設けていただき、議論しながら一つずつ答えを見つけていきたい。

【参加者】

シビックプライドを持つと活動が楽しくなる。活動していくのは知恵が必要である。そう言った知恵は自主的に他から学ばなければならない。

以前、西条はシビックプライドについて進んでいるから視察にいきたいという連絡があった。その時、シビックプライドという言葉は知っていたが、内容についてはあまり理解できていなかった。100 パーセント理解したとは言わないが、大体は理解できた。シビックプライドについて自分たちが置かれた立場や、神拝校区を盛り上げていくためには関心を持つべきだと感じた。

神拝校区を盛り上げていくためには、気持ちを理解し、一緒にやっていくことが大切。

5 その他（地区における課題及び要望に対する回答）

【シティプロモーション推進課長】（参照別紙資料（4））

6 まとめ・閉会

【市長】

タウンミーティングは6月22日からスタートしており11月28日までロングランでやっていく。神拝の皆さんともう少し煮詰めていかななくてはならない。地域自治組織は一回、今の考えをスクラップしていく必要がある。固定化していないかを今一度確認しなければならない。会長だけにゆだねるのではなく、市役所も一緒に協働のまちづくりを進めていきたい。変えていくのは勇気がいるが、一歩進んだ西条市にするためにやっていきたい。全ては市民の皆さんのためという信念でやっていきたい。できてないことも多々あり、理想を言っているとみられるが、政治は理想への挑戦だと思っているのでチャレンジしていく。職員の気持ちを密にし、市民の方にも理解を深めていただきながらやっていく。本日は、感謝申し上げます。

【神拝地区連合自治会長】

今日はお忙しい中皆さんに出席いただき、神拝校区について感じていることをお互いに言うことができた。神拝校区に目を向けていただき話し合いを続けていきたい。皆さんも各団体に話し合いをしていただき、今後も市と協力しながら住民同士が支えあうようにしていきたい。どうぞよろしく。本日は感謝申し上げます。

（閉会）

<タウンミーティングの様子>

